

こだまJC

[埼玉県]

OB、現役が世代を超え 地域の発展に寄与

こだま青年会議所が活動する、
この地域は、本庄市・美里町・神川町・上里町の1市3町によって構成され、埼玉県の北西部に位置しています。利根川沿いに広がる平野部と、秩父山系に連なる丘陵地・山地からなり、貴重な自然環境と五州の山を見渡せる景観を有しています。人口は約14万人。JR高崎線・八高線、国道17号、254号、462号、関越自動車道のほか、平成16年には上越新幹線本庄早稲田駅が開業し、本庄地方拠点都市として整備・発展が期待されている地域です。

こだま青年会議所は、篠田正浩監督の映画「心中天網島」が公開された1969年、108名の郷土を愛する青年が結集し、認証第415号本庄青年会議所として誕生しました。その後、「こだまは一つ」をスロ

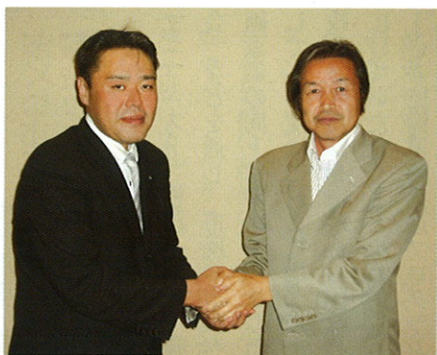
ーガンに、活動エリアを近隣市町村へひろげ、それに伴い名称もこだま青年会議所へと改称しました。これまで、花火大会・みこしパレード・わんぱく相撲・キャンドルイルミネーションなど、市民と一体となり時代に合った事業を展開してまいりました。

最近では、篠田正浩監督の映画「スパイ・ゾルゲ」の本庄ロケをきっかけに彩の国本庄拠点フィルムコミッションが誕生し、ロケ地としてスクリーンに映る機会が増え、映像を活かしたまちづくりにも地域一丸で取り組んでおります。

そのようななか、本庄・こだま青年会議所OB会は、日ごろの情報交換や体力増進の場として、現役時代に培ったメンバー同士の絆をさらに深めてまいりました。現在会員は103名おり、年4回の例会を行い、ゴルフコンペや講演会など独自の活動とともに現役との交流も継続してまいりました。

そして、こだま青年会議所は今年度創立40周年を、本庄・こだま青年会議所OB会は創立35周年を迎えます。6月の40周年記念ファミリーコンサート、秋の記念式典は、OBと現役が世代を超え協力し合い、市民へこれまでの感謝とさらなる地域発展のメッセージを伝えてまいりたいと考えております。

日本JCシニア・クラブ
埼玉ブロック担当幹事
高橋祐介



本庄・こだま青年会議所OB会会長(右)とこだま青年会議所榊田理事長(左)



例会の様子



「やわらかな夜」~14万人のキャンドルイルミネーション~